



浜松市沿岸域防潮堤



浜松市では寄付金により総延長17.5kmにおよぶ防潮堤を、既存海岸防災林を嵩上げすることで、南区で最大高14.9m西区で最大高さ13.3mになると想定されている津波に対し、宅地浸水面積を約7割、宅地浸水深2m以上の範囲を97%低減することを目標として、防潮堤の整備を進めている現地の様子です。



『港 防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。
(例：埋立地(地震に弱い)、海岸線(津波に弱い)、臨海コンビナートに近接、住民の高齢化)
これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民/企業/行政の相互理解とそれに基づく活動であります。
そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

静岡県地震防災センター・浜松市沿岸域防潮堤見学

平成30年10月24日(水) なやプラザを定刻の7時30分に出発し、伊勢湾岸道、東名高速を經由し10時30分、「静岡県地震防災センター」に到着。TSUNAMIシアターや地震体験コーナーでの見学、午後は「浜松市沿岸域防潮堤」の現地を見学しました。参加者の内訳は、企業の方4名、連合自治会・自主防災隊14名、中部地区センター2名の計20名です。施設内では、家具の転倒防止方法、備蓄品・非常持ち出し品の紹介等の展示コーナー、地震の揺れなどの体験コーナー、TSUNAMIシアターの見学、防災ビデオ、防災講話などを視聴・聴講しました。今回の視察研修を受けて、防災マニュアルの検証・見直し、要配慮者の把握・対応、防災資機材・備蓄品等の充実を目指して行きたいと思っております。

■平成31年度の「港地区自主防災組織連絡協議会」総会

- 自治会・企業代表者会議 本町プラザ 5月17日(金) 午後1時30分
- 港地区自主防災組織連絡協議会 本町プラザ 6月9日(日) 午前9時30分

■平成30年度グループ別防災訓練

- 2月24日(土) 南納屋町、西末広町、千歳町グループ 消火器の使い方、ケガ人の搬送
- 2月 日(土) 尾上町グループ
- 2月 日(土) 稲葉町、北納屋町、浜町グループ
- 3月16日(土) 高砂町グループ
- 3月17日(日) 中納屋断、蔵町、相生町グループ 三重減災ネットとの防災懇談会

《防災委員》(敬称略・五十音順 自治会長、自主防災隊長、作業部会)

荒川 博	家城 宏光	加藤 亘	清原 茂	清水 泰次	瀬川 宏	堤 利臣
寺井 勝	豊田 成彦	橋本 幸生	長谷川 雄俊	羽多野 隆	春木 秀茂	平尾 隆俊
藤井 俊之	藤村 まさみ	町田 光夫	松田 裕文	松野 郁雄	松本 博光	三浦 恭久
水谷 哲	森川 祥行	山田 鑛明	吉田 正紀	吉田 泰宣	みえ減災啓発支援ネット	

《防災連携企業》(五十音順)

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所	風薫会
協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)	コスモ石油(株)	佐藤クリニック
三エスゴム(株)	JSR(株)	昭和電工ガスプロダクツ(株)		住友電装(株)
第一工業製菓(株)	大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	高砂建設(株)
中部海運(株)	中部電力(株)四日市火力発電所		中日本建設(株)	東ソー(株)
東邦ガス(株)	東陽興業(株)	日本板硝子(株)	日本海事検定協会	日本カニゼン(株)
日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)	日本トランスシティ(株)		
(株)ニヤクコーポレーション		林興業(株)	三菱ケミカル(株)	四日市海運(株)
四日市電機(株)	四日市港郵便局			

静岡県地震防災センター



浜松市沿岸域防潮堤見学は4面に続く

避難所運営訓練

港地区自主防災組織連絡協議会



施設班

ボランティア班



総務情報班



港第二市民防災隊



掲示板



食料物資班



アルファ米調理



救護班



間仕切りの組立班



衛生班



港災害対策基地本部


 ←ここ
 なやプラザ
 避難所
 (津波避難ビル)
 ここは 海拔
 (地盤面) 1.4 m
 提供 TRANCY
 日本トランスシ
 株式会社
 蔵町4


 津波避難ビル
 TSUNAMI EVACUATION BUILDING
 四日市市



簡易トイレ組立



女性専用室管理班



三角巾の使い方

好評でした

